

様式第1号（第2条関係）

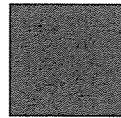
令和4年9月30日

恵那市長

小坂 喬 峰 様

（恵那市議会議長経由）

恵那市議会議員 林 貴光



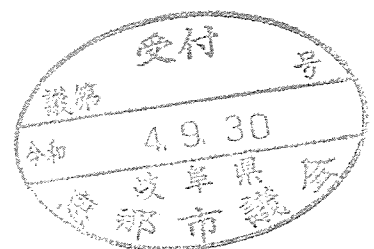
交付請求書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、下記のとおり請求
します。

記

政務活動費請求金額 92,874 円

ただし、 令和4年 4月分 ～ 令和4年 9月分



様式第2号(第2条関係)

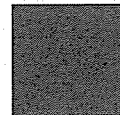
令和4年9月30日

恵那市議会議長

様

恵那市議会議員

林 貴光



収支報告書

恵那市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、令和4年4月分～令和4年9月分に係る政務活動費収支報告書を提出します。

記

1 収 入

政務活動費 92,874 円

2 支 出

単位：円

項 目	支 出 額	備 考
調 査 研 究 費	90,174	視察費等
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	2,700	資料費
合 計	92,874	

様式第 3 号(手引き第 4 章関係)

(本人作成書類)

令和 4 年度 恵那市議会政務活動費会計帳簿

議員名 林 貴光

(令和 4 年 4 月 1 日 から 令和 4 年 9 月 3 0 日 まで)

単位 (円) 【 1 - 1 】

日付		整理 番号	条例別表 の項目名	摘 要	領収額	政務活動費 充当額	支出可能額 (残)
4	25	1	調査研究費	4/25 宿泊代	7,760	7,760	112,240
5	9	2	調査研究費	4/25-26 バス代	25,774	25,774	86,466
5	13	3	調査研究費	資料代	2,700	2,700	83,766
5	25	4	調査研究費	5/17-19 バス代	38,140	38,140	45,626
5	25	5	調査研究費	5/17-18 宿泊代	18,500	18,500	27,126
合計					92,874	92,874	27,126

注 この会計帳簿に記載する整理番号及び政務活動費充当額は、領収書貼付用紙の記載した整理番号及び政務活動費充当額と一致する。

様式第6号（第5条関係）

支出伝票

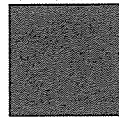
金額 7,760 円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和4年9月30日

恵那市議会議員

林 貴光



- 1 支出先 東京都千代田区平河町二丁目四番一号
都市センターホテル
- 2 支出年月日 令和4年4月25日
- 3 支出の項目 調査研究費
- 4 支出の使途 宿泊代
- 5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由

様式第5号（第5条関係）

領収書貼付用紙

年 度	令和4年度	項 目	調査研究費		
整 理 番 号	1	議員名	林 貴光		
支出の按分の状況	(按分の内容) 朝食代を除く宿泊費のみ計上 (7,760円-0円=7,760円)				
	(按分率)	(政務活動費充当額) 7,760円			
領収書の補足説明	4月25日～4月26日行政視察における宿泊代				
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄					

領 収 証 RECEIPT		No.A 089312
林 貴光 様		2022年4月25日
7,760- 但 2022年4月25日宿泊代として 上記の金額を領収致しました The above mentioned sum of money is duly received.		印紙税申告納 付につき題可 税務署承認済 都市センターホテル
 都市センターホテル 東京都千代田区平河町二丁目四番一号 株式会社 東京ロイヤルホテル TEL.03 (3265) 8211 (大代表)		取扱者印 

様式第6号(第5条関係)

支出伝票

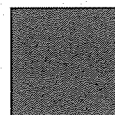
金額 25,774 円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和4年9月30日

恵那市議会議員

林 貴光



1 支出先 岐阜県中津川市蛭川 5328
株式会社 ごとう観光

2 支出年月日 令和4年5月9日

3 支出の項目 調査研究費

4 支出の使途 バス代

5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由

様式第5号（第5条関係）

領収書貼付用紙

年 度	令和4年度	項 目	調査研究費
整 理 番 号	2	議員名	林 貴 光
支出の按分の状況	(按分の内容) 2 日間で研修視察を実施しすべてを政務活動とし按分率を100%とした。 (25,774 円-0 円=25,774 円)		
	(按分率) 100%	(政務活動費充当額) 25,774 円	
領収書の補足説明	4 月 25 日～4 月 26 日行政視察におけるバス代 (貸し切りバス代、高速料金、乗務員宿泊代)		
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄			

領 収 証

No. 0000987

林 貴 光

様

R4 年 5 月 9 日

金額	百万	千	円
	4	25	774

収 入
印 紙

但し ☐バス代金として ☐ツアー代金として
☐旅行代金として ☒その他(

R4. 4/25~26
東京研修のためのバス代金

上記金額正に領収いたしました

内訳

税抜金額

消費税額 (%)



ごとう観光バス
Goto kanko bus

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町 2729-401
TEL 0573-26-1253 FAX 0573-26-1405
URL: http://510bus.com

取扱者

様式第6号(第5条関係)

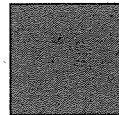
支出伝票

金額 2,700 円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和4年9月30日

恵那市議会議員 林 貴光



- 1 支出先 岡山県小田郡矢掛町矢掛矢掛 1989 番地
一般財団法人 矢掛町観光交流推進機構
- 2 支出年月日 令和4年4月25日
- 3 支出の項目 調査研究費
- 4 支出の使途 資料代
- 5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由
今回研修参加者 10 名分の領収書を代表者が受領しているため

様式第5号 (第5条関係)

領収書貼付用紙

年 度	令和4年度	項 目	調査研究費		
整 理 番 号	3	議員名	林 貴光		
支出の按分の状況	(按分の内容) 総額のうち10人で割った金額を計上 (27,000÷10=2,700円)				
	(按分率) 100%	(政務活動費充当額) 2,700円			
領収書の補足説明	5月17日～5月19日行政視察における資料代				
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄					

領 収 証

愛媛県議会議員 堀江 彦 他10名様

★

¥27,000-

但

5/8 矢掛町観光視察料として

2022年5月13日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等

収 入
印 紙

コシヨ ウケ-1097

一般財団法人 矢掛町観光交流推進機構(やかげDMO)
〒714-1201 岡山県小田郡矢掛町
(矢掛ビクターセ)
TEL 0866-83-
FAX 0866-83-

研修参加者一覧

- ・後藤 康司
- ・千藤 安雄
- ・柘植 孝彦
- ・堀 光明
- ・町野 道明
- ・鵜飼 伸幸
- ・伊藤 勝彦
- ・服部 紀史
- ・太田 敦之
- ・林 貴光

以上10名

原本は柘植孝彦市議申請書に添付

様式第6号(第5条関係)

支出伝票

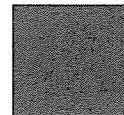
金額 38,140 円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和4年9月30日

恵那市議会議員

林 貴光



- 1 支出先 岐阜県恵那市大井町 2087-518
有限会社 大光レンタカーリース
- 2 支出年月日 令和4年5月25日
- 3 支出の項目 調査研究費
- 4 支出の使途 バス代
- 5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由

様式第5号（第5条関係）

領収書貼付用紙

年 度	令和4年度	項 目	調査研究費
整 理 番 号	4	議員名	林 貴光
支出の按分の状況	(按分の内容) 3日間で研修視察を実施しすべてを政務活動とし按分率を100%とした。 (38,140円-0円=38,140円)		
	(按分率) 100%	(政務活動費充当額) 38,140円	
領収書の補足説明	5月17日～5月19日行政視察におけるバス代 (貸し切りバス代、高速料金、乗務員宿泊代)		
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄			

領 収 証

林 貴 光

様

No. _____

金 額

¥ 38,140

内 訳

現 金

小 切 手

手 形

但 令和4年5月17日～19日広島・岡山研修バス代金
 4年5月25日 上記正に領収いたしました

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町2087-518

消費税額等(%)

消費税額等(%)

有限会社 大光レンタカーリース

TEL:0573-25-9800 FAX:0573-22-9640

登録番号

収入印紙

GR1621

様式第6号（第5条関係）

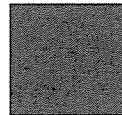
支出伝票

金額 18,500 円

政務活動費として上記の金額を支出しました。

令和4年9月30日

恵那市議会議員 林 貴光



- 1 支出先
- 2 支出年月日 令和4年5月25日
- 3 支出の項目 調査研究費
- 4 支出の使途 5月17日、18日宿泊代
- 5 領収書又はこれに準ずる書類を徴しがたい理由

様式第5号 (第5条関係)

領収書貼付用紙

年 度	令和4年度	項 目	調査研究費
整 理 番 号	5	議員名	林 貴光
支出の按分の状況	(按分の内容) 3日間の研修のうち2泊分の宿泊費のうち朝食費を引いた金額を計上 (18,500円-0円=18,500円)		
	(按分率) 100%	(政務活動費充当額) 18,500円	
領収書の補足説明	5月17日～5月19日行政視察における宿泊代		
領収書又はこれに準ずる書類 貼付欄			

領 収 証

林 貴 光

様

No. _____

金 額

¥ 18,500.-

内 訳

現 金

小 切 手

手 形

但 令和4年5月17日・18日大島・岡山研修 宿泊代金
4年 5月25日 上記正に領収いたしました

消費税額等(%)

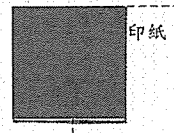
消費税額等(%)

〒509-7201 岐阜県恵那市大井町2087-518

有限会社 大光レンタカーリース

TEL:0573-25-9800 FAX:0573-22-9640

登録番号



GR1621

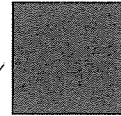
令和4年9月30日

恵那市議会議長

鶴飼 伸幸 様

恵那市議会議員

林 貴光



研修視察等報告書

恵那市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- 1 期 間 令和4年4月25日 ～ 令和4年4月26日
- 2 研修視察先
 - 1日目、山梨県 甲府市 山梨県産業技術センター
担当、総務課 杉野 巧様
 - 2日目、東京都千代田区議員会館
農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課
高田 文子様 高山 真史様
農林水産省 林野庁 林政部木材利用課 木質バイオマス推進班
日比野 祐亮様 都築 高志様
- 3 研修視察名
有志議員による、リニア新幹線山梨県駅計画地域の視察、農林水産省職員による政策説明を受講し研修を行った。
- 4 研修視察者
町野道明、後藤康司、鶴飼伸幸、千藤安雄、西尾 努
柘植孝彦、伊藤勝彦、服部紀史、太田敦之、林貴光
- 5 概 要
 - 1日目、山梨県甲府市にて視察及び聞き取り
 - 2日目、東京都千代田区 衆議院第二議員会館にて研修
- 6 効 果
別紙報告書を参照ください。

様式第1号(手引き第3章関係)

(本人作成書類)

令和4年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 林 貴光

1. 会の名称	恵那市議会 有志(新政会及び無会派議員)
2. 開催日時	令和4年 4月25日 10時40分 ~ 12時00分
3. 会場	山梨県産業経済センター
4. 参加議員名	町野道明、後藤康司、鵜飼伸幸、千藤安雄、西尾 努 柘植孝彦、伊藤勝彦、服部紀史、太田敦之、林貴光
5. 参加人数	10人
6. 内容(目的)	リニア新幹線の波及効果が沿線で1番大きいといわれる山梨県駅の概要を視察し当市で作成されているリニアまちづくり構想の実施計画やその効果の検証、提案を行うため。 1. 計画されている現地を視察。 2. 周辺の交通アクセスの概要 3. 周辺のまちづくりの概要 4. 事業実施スケジュール 上記について説明を受けた。

注1 関係書類を添付すること。

注2 事業毎に別様として作成すること。

様式第 1 号(手引き第 3 章関係)

(本人作成書類)

令和 4 年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 林 貴光

1. 会の名称	恵那市議会 有志(新政会及び無党派議員)
2. 開催日時	令和 4 年 4 月 2 6 日 9 時 4 0 分 ~ 1 2 時 0 0 分
3. 会場	衆議院第二議員会館 会議室
4. 参加議員名	町野道明、後藤康司、鵜飼伸幸、千藤安雄、西尾 努 柘植孝彦、伊藤勝彦、服部紀史、太田敦之、林貴光
5. 参加人数	10 人
6. 内容(目的)	再生可能エネルギーの利用は地方自治体においても必要不可欠の課題となっている。国の進める再生可能エネルギー施策のうち農林業の分野の取り組みの具体的な説明を受けることにより当市の再生可能エネルギー施策の提案とするため。 1. 農山村漁村における再生可能エネルギー発電をめぐる情勢 2. みどりの食料システム戦略の実現に向けた新たな政策の推進方向 3. 木質バイオマスの利用推進について

注 1 関係書類を添付すること。

注 2 事業毎に別様として作成すること。

令和4年9月30日

恵那市議会議長

鵜飼 伸幸 様

恵那市議会議員 林 貴光

研修報告書

1 期間 令和4年4月25日～令和4年4月26日

2 研修視察先

1日目 山梨県甲府市 山梨県産業技術センター

担当 総務課 杉野 巧様

所感

リニア中央新幹線開業に向け、軌道沿線で1番経済波及効果の大きいと言われる山梨県駅の概要を視察しました。

リニアインパクトを最大限に取り込むための周辺交通アクセス、まちづくりの考え方等、恵那市のまちづくりに対する多くの示唆を得られました。

とりわけ参考になったのは、リニア駅前エリアの交通結節機能への考え方、注力の仕方です。リニア駅は、直結する中央自動車道や新山梨環状道路などの幹線道路をはじめ県内に整備される道路ネットワークを通じて県内各地と結ばれます。また、小井川駅、甲府駅などの県内の主要拠点や県外を結ぶバス交通ターミナルとして、公共交通ネットワークのハブと位置付けられています。このため、交通拠点となるリニア駅前エリアにおいて、リニア、バス、タクシー、乗用車等の各交通機関の利用者の移動、乗り換えが円滑にできるよう交通結節機能がしっかりと確保されるよう計画設計されていました。

施設としましては、公共交通ロータリー、一般車ロータリー、バス・タクシー乗降場、駐車場、駐輪場、パーソナルモビリティ等の乗降スペース、広場、充電スタンド、水素ステーション等が計画され、民間資本の参入を前提に整備を検討されている点等が参考になると感じました。

2日目 東京都千代田区議員会館

担当 農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課

高田 文子様 高山 真史様

農林水産省 林野庁 林政部木材利用課 木質バイオマス推進班
日比野 祐亮様 都築 高志様

所感

1 農山漁村における再生可能エネルギー発電をめぐる情勢について

日本国の総発電量に占める再生可能エネルギー電気の割合は令和元年度時点で18.1%、以前から開発が進んできた水力発電を除く再生可能エネルギー電力は10.3%に増加している。

国土面積あたりの日本の太陽光導入容量は主要国の中で最大。平地面積で見るとドイツの2倍で主要国の中でダントツ1位の導入容量となっている。

再生可能エネルギーの発電設備や設備利用率は、電源毎に違いがあり、状況に応じた適切な電源種を選択することが重要で、山間地の多い恵那市には木質バイオマス発電や、小水力発電等を再生可能エネルギーとして地産地消出来れば理想的だと感じました。

農林漁業の健全な発展と調和の取れた再生可能エネルギー電気の発電の促進に関する法律（農山漁村再生可能エネルギー法）が平成25年11月に成立。26年5月に施行されている。法の趣旨は農山漁村において農林漁業の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギー電気の発電を促進するための措置を講ずることにより、農山漁村の活性化を図るとともに、エネルギー供給源の多様化に資する制度を創設するとある。

近年営農型太陽光発電設備の設置や森林の大量伐採を伴うメガソーラーの設置などを見るにつけ、土砂災害の発生や、景観を大きく損なう恐れのある開発を条例を超える法律で制限をかけていくことの必要性を強く感じます。

恵那市も景観に重きを置く条例改正を早急に行い、土地柄に合った再生可能エネルギーの地産地消のモデルを構築すべきだと考えます。

2 みどりの食料システム戦略の実現に向けた新たな政策の推進方向について

みどりの食料システム戦略～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～①2050年までに目指す姿として、農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現。②低リスク農業への転換、総合的な病害虫管理体系の確立・普及に加え、ネオニコチノイド系を含む従来の殺虫剤に代わる新規農薬等の開発により化学農薬の使用量（リスク換算）を50%低減。③輸入原料、化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減。④耕作面積に占める有機農業の取り組み面積の割合を25%（100万ha）に拡大等が目標設定されている。

期待される効果として、経済面では、肥料・飼料・原料調達を輸入から国内生産に転換。国産品の評価向上による輸出拡大。新技術を活かした多様な働き方、生産

者の裾野の拡大がある。社会面では、国民の豊かな食生活の実現や、地域の雇用・所得の増大があり、生産者と消費者が連携した健康的な日本型食生活も見直される。環境面では、環境と調和した食料・農林水産業の実現。化学農薬・化学肥料の抑制によるコスト低減等が期待される。

国は関係者の理解の増進や技術開発・普及の促進。環境負荷低減に資する調達・生産・流通・消費の促進。環境負荷低減の取り組みの見える化等を進める。

自治体は環境負荷低減に取り組む生産者やモデル地区とともに計画を支援する。

ネオニコチノイド系殺虫剤やラウンドアップの成分であるグリホサートによる発癌性や精神疾患、世代を超えた生殖系疾患。遺伝子組み換え食品の動物実験による発癌性の研究結果などアメリカやEU諸国では使用禁止になった農薬や食品添加物が日本では大量に流通している現状に強い危機感を持っております。食料自給率を向上させるとともに、安全な農と食の充実を恵那市において先進的に進めていただきたいと思います。

3 木質バイオマスの利用推進について

森林率77%の恵那市における再生可能エネルギー発電を考えると、まずは施設や家屋の屋根上への太陽光パネルの設置。次に有効な再生可能エネルギーは小水力発電、もしくはこの木質バイオマス発電だと考えます。そこで地域内エコシステムの構築による熱利用及び熱電併給の推進が注目される。

地域内エコシステムとは、集落や市町村レベルで、熱利用または、熱電併給による小規模な木質バイオマスエネルギーの利用により、森林資源を地域内で持続的に循環させる仕組みです。この取り組みにより、地域での森林資源を持続的に活用し、エネルギーの地産地消により地域外への資金流出を防ぎ地域の活性化を目指すものです。

恵那市では、武並町や明智町で木質バイオマス発電の計画があると聞きました。安定して供給出来る間伐材、未利用材が無いと無理な伐採が起こるなどの弊害が考えられるので、間伐材の供給量をしっかり試算した上で木質バイオマス発電所の市内設立を進めていただきたいと思います。

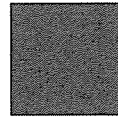
以上

令和4年9月30日

恵那市議会議員

鵜飼 伸幸 様

恵那市議会議員 林 貴光



研修視察等報告書

恵那市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- 1 期 間 令和4年5月17日 ～ 令和4年5月19日
- 2 研修視察先
 - 1日目、広島県 広島市 安佐北区可部東地区
H26年河川災害箇所復興状況視察
 - 2日目、広島県 広島市 安佐南区八木・緑井地区
担当 広島市都市整備局都市整備調整課
金谷 寿士様 小田 善丈様
岡山県 倉敷市 矢掛町矢掛ビジターセンター
担当 矢掛町観光交流推進機構
金子 晴彦様 佐藤 武宏様
株式会社 シャンテ 安達 精治様
 - 3日目、岡山県 高梁市 備中松山城
担当 高梁市産業経済部観光課 担当 高梁市議会事務局
野口 和則様 森 昌士様 三上 武則様
- 3 研修視察名
有志議員による、広島県広島市の豪雨災害の復興状況、岡山県倉敷市矢掛町アルベルゴディフィータウン視察、岡山県高梁市備中松山城の視察
- 4 研修視察者
堀光明、町野道明、後藤康司、鵜飼伸幸、千藤安雄、
柘植孝彦、伊藤勝彦、服部紀史、太田敦之、林貴光
- 5 概 要
 - 1日目、広島県広島市安佐北区可部東地区視察
 - 2日目、広島県広島市安佐南区八木・緑井地区視察及び聞き取り
岡山県 倉敷市 矢掛町矢掛ビジターセンター視察及び研修
 - 3日目、岡山県 高梁市 備中松山城を視察及び聞き取り
- 6 効 果
別紙報告書を参照ください。

様式第1号(手引き第3章関係)

(本人作成書類)

令和4年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 林貴光

1. 会の名称	恵那市議会 有志(新政会及び無会派議員)
2. 開催日時	令和4年5月17日 15時30分 ~ 16時30分
3. 会場	広島県広島市安佐北区可部東地区
4. 参加議員名	堀光明、町野道明、後藤康司、鵜飼伸幸、千藤安雄、 柘植孝彦、伊藤勝彦、服部紀史、太田敦之、林貴光
5. 参加人数	10人
6. 内容(目的)	平成26年の豪雨災害において甚大な被害を受けた 地域の復興状況を視察し住民避難と防災の備えにつ いて当市の防災対策と今後の施策の参考にしたい。

注1 関係書類を添付すること。

注2 事業毎に別様として作成すること。

様式第 1 号(手引き第 3 章関係)

(本人作成書類)

令和 4 年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 林 貴光

1. 会の名称	恵那市議会 有志(新政会及び無党派議員)
2. 開催日時	令和 4 年 5 月 18 日 9 時 00 分 ～ 10 時 30 分
3. 会場	広島県広島市安佐南区 八木・緑井地区
4. 参加議員名	堀光明、町野道明、後藤康司、鶴飼伸幸、千藤安雄、 柘植孝彦、伊藤勝彦、服部紀史、太田敦之、林貴光
5. 参加人数	10 人
6. 内容(目的)	平成 26 年の豪雨災害において甚大な被害を受けた 地域の復興状況を視察し住民避難と防災の備えにつ いて当市の防災対策と今後の施策の参考にしたい。 1. 大規模な砂防工事による災害復旧工事の視察 2. 被災当時の様子や対応を聞き取ることで大規 模な災害時における行政の対応の在り方を研 修する 3. 復旧工事の手法や関連事業について研修を行 う

注 1 関係書類を添付すること。

注 2 事業毎に別様として作成すること。

様式第 1 号(手引き第 3 章関係)

(本人作成書類)

令和 4 年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 林 貴光

1. 会の名称	恵那市議会 有志(新政会及び無会派議員)
2. 開催日時	令和 4 年 5 月 18 日 14 時 00 分 ~ 16 時 00 分
3. 会場	岡山県小田郡矢掛町
4. 参加議員名	堀光明、町野道明、後藤康司、鵜飼伸幸、千藤安雄、 柘植孝彦、伊藤勝彦、服部紀史、太田敦之、林貴光
5. 参加人数	10 人
6. 内容(目的)	宿泊と滞在型観光地の一つの手法としてあるアルベルゴディフィーゾタウンの実証地である地域を視察しその取り組みと構想や考え方を聞き取り当市の観光施策にいかすため

注 1 関係書類を添付すること。

注 2 事業毎に別様として作成すること。

様式第1号(手引き第3章関係)

(本人作成書類)

令和4年度 恵那市議会政務活動費実施(参加)記録書

議員名 林 貴光

1. 会の名称	恵那市議会 有志(新政会及び無党派議員)
2. 開催日時	令和4年5月19日 9時30分 ~ 11時00分
3. 会場	岡山県高梁市
4. 参加議員名	堀光明、町野道明、後藤康司、鶴飼伸幸、千藤安雄、 柘植孝彦、伊藤勝彦、服部紀史、太田敦之、林貴光
5. 参加人数	10人
6. 内容(目的)	本年全国山城サミットが当市で開催予定であるが山城の草分け的な備中松山城の視察とそれを生かした観光施策を聞き取るにより今後の取り組みや施策に生かすため 1. 山城の視察 2. 高梁市観光課職員からの現状の説明と今後の取り組みについての説明

注1 関係書類を添付すること。

注2 事業毎に別様として作成すること。

令和4年9月30日

恵那市議会議長

鶴飼 伸幸 様

恵那市議会議員 林 貴光

研修報告書

1 期間 令和4年5月17日～令和4年5月19日

2 研修視察先

1日目 広島県広島市安佐北区可部東地区 平成26年河川災害箇所の復興状況視察
所感

平成26年広島豪雨災害からの被災地の復興とまちづくりについて視察をさせていただきました。

この豪雨災害がどのように発生したのか、被害状況はどのようなであったかを振り返ってみます。

広島市は、平野を取り囲む形で広範囲に山地が広がっており、その地盤の多くは、表面が風化しやすい花崗岩となっている。大きな被災を受けた広島市北部の太田川流域は、花崗岩が風化したマサ土が表層に堆積する丘陵地が広がっており、集中豪雨等による斜面崩壊や土石流の発生しやすい地形的・地質的特性を有していた。三方の山々がデルタを囲む平地部の割合は約17%しかなく古くから斜面地への居住が進んでいた。

災害発生当時、阿武山を背にした丘陵地に一定方向の風が吹き続け上昇気流で積乱雲が次々に発生し豪雨が降り続くバックビルディング現象が起きていたと思われる。平成26年8月19日9時～20日9時の24時間雨量は300mm近くであった。

人的被害は、死者77人、負傷者68人。物的被害は、全壊179件、半壊217件、一部損壊189件、床上浸水1,084件、床下浸水3,080件、合計4,749件でありました。

ここの被災現場は太田川の護岸の整備と用水の設置、河川の浚渫等でしたが、ほぼ工事の方は完成している模様でした。現場からは被害の規模感が伝わってきました。

2日目 1 広島県広島市安佐南区八木・緑井地区

担当 広島市都市整備局都市整備調整課

金谷 寿士様 小田 善文様

所感

県営緑丘住宅付近の土砂災害現場の復興とまちづくりを視察しました。

人々の生活が古くから営まれ、各種都市基盤や生活基盤の整備された地域であり、今後とも、安心して住み続けられるまちとすべく復興に取り組む。という考えのもと、①土石流から市民の生命と財産を守るための「砂防堰堤等の整備」②災害発生時に機能する「避難路の整備」③豪雨の際の出水から市街地を守る、「雨水排水施設の整備」④住み慣れたコミュニティの中での現地再建に向け、「住宅債権の支援」この4本柱の復興基本ツールでの再建が進められました。

国の直轄事業である砂防堰堤の建設は完了しており、圧倒的な数と規模の堰堤が丘陵地の上部に建設されていました。これにより暮らしの安心、安全性が担保され、その上に都市計画道路の建設が進み、災害発生時の避難路が確保される計画でした。さらに都市計画道路の地下には雨水管が埋設され河川へと排水されるように設計されていました。都市計画道路、雨水管は市の事業で行われております。

また、広島市豪雨災害伝承館（仮称）も建設中で、災害で得た貴重な経験や記憶を教訓として、次の世代に伝承するため、あらゆる災害から命を守るための防災教育の場、災害の記憶と経験の伝承の場となる拠点施設整備を進められており、ソフト面での啓発、啓蒙もしっかり取り組まれているのが印象的でした。復興の理念、災害に備える姿勢など当市が学ぶべきところが多くあり、勉強になりました。

2 岡山県倉敷市矢掛町矢掛ビジターセンター

担当 矢掛町観光交流推進機構 金子 晴彦様 佐藤 武宏様

2日目の午後は倉敷市の矢掛町にて宿泊と滞在型観光地の手法としてアルベルゴ・ディフーズタウンの実証地を視察。

アルベルゴとはイタリア語で宿を意味し、ディフーズとは散らばっている、分散を意味します。このディフーズタウンの入口に「道の駅山陽道やかげ宿」がまるで門を構えるように位置し、街の中へと観光客を誘導します。

矢掛は古民家再生と分散型ホテルによる観光への挑戦をされて入り込み客を徐々に増やしておられます。矢掛町は明治、大正、昭和（戦前）の街並みが併存していましたが、人口減少による空き家、空き地の増加から、街並みが崩壊の危機に面していました。そこで、社会資本整備総合交付金（空き家再生等推進事業）や過疎対策事業債を活用した古民家再生事業が実施されたのでした。

古民家再生事業費の財源内訳は、社会資本整備総合交付金 114,204 千円、過疎対策事業債 581,500 千円、町費負担 23,662 千円で平成26年度施設が完成し、平成27年度「観光元年」と位置づけ観光による活性化に取り組まれました。

行政主導の観光による地域活性化に限界を感じ、柔軟かつ迅速に事業実施する必要性から、平成31年4月1日に、やかげDMOが誕生。地域の稼ぐ力を引き出し観光地経営の視点に立った舵取り役として、関係者と協同しながら明確なコンセプトに基づく観光地域づくりを実現するための戦略策定及びその着実に実施する機能を持った法人として矢掛町が拠出金を300万円出資し発足した。

ソフト事業展開として①まるごと道の駅の活性化と活用・商店街及び町内全域への波及効果。②アルベルゴ・ディフーズ認定を生かしたまちづくり③農泊推進・農業体験を組み込んだ宿泊メニューの開発。③マイクロツーリズム・近隣周辺住民が楽しめる旅行企画及び商品開発。④インバウンド対応の強化・コンテンツの磨き上げ、オーダーメイドによる滞在提案。⑤広域連携・近隣市町や地域住民、高校、大学等と連携した、点ではなく面での展開。

恵那市におけるアルベルゴ・ディフーズは市全域ではなく13地域ごとくらのエリア内での統一されたコンセプトの宿泊施設が有機的に結びついていくと面白いと思います。

3日目 岡山県高梁市 備中松山城

担当 高梁市産業経済部観光課 野口 和則様

高梁市議会事務局 森 昌士様 三上 武則様

恵那市における全国山城サミット開催に先立ち3大山城のひとつ備中松山城を視察しました。天守閣の残る山城の勇壮かつ美しい佇まいに感動したところです。備中松山城を中心としたまちづくりから、恵那市にも持ち帰ることが出来そうな考え取り組みをまとめてみます。

松山城に関しては「天守が残る唯一の山城」「雲海に浮かぶ天空の山城」「難攻不落の要塞」としてプロモーションし、ジャパンレッド発祥の地～弁柄と銅の町・備中吹屋を2大観光地として観光誘客を図っている。松山城にはマスコットの猫城主さんじゅーろーのグッズなどもあり猫目当てで再訪してくれる観光客も多いということです。また、観光地間が離れていること、空港や駅からの二次交通が充実してないことにより、観光の現状は自家用車が中心で、県内、近県からの観光客が大半を占めている。首都圏や関西圏からの誘客促進には、二次交通の充実が必要であり、市内タクシー事業者による「備中松山城乗合タクシー」の運行や、城へのアクセスとしてEVトライクの導入、レンタカー会社の誘致など、交通空白地を埋めていくための取り組みを実施している。観光庁への補助金申請により、岡山空港、備中高梁駅から吹屋へのアクセスとして、直行バスを運行する実証事業を計画しているとのこと。

以上